



神田外語大学が THE 世界大学ランキング日本版において総合 33 位にランクイン -- 教育充実度、教育成果、国際性の 3 項目で高い評価

神田外語大学(千葉県美浜区/学長:宮内孝久)はこのたび、イギリスの高等教育専門誌『THE Times Higher Education』と株式会社ベネッセホールディングス(岡山県岡山市/代表取締役社長:安達保)が作成した「THE 世界大学ランキング日本版 2018」で総合 33 位、全国私立大学中 11 位にランクイン。昨年 46 位から上昇する結果となりました。同ランキングは、教育リソース、教育充実度、教育成果、国際性の 4 つの視点で、大学選びに影響を持つ高校教員や企業人事によって評価が行われます。同大は 3 つの項目において高い評価を受け、開学以来「高度な語学運用能力」と「グローバル社会で活躍するためのコミュニケーション能力」を身につけた人材の輩出に注力してきた結果が評価されました。

今回発表された「THE 世界大学ランキング日本版」は、大学合格者の学力のみによる大学の評価を変えるべく、多様なステークホルダーの視点を通して教育力を評価する指標を導入。大学選びに影響を持つ高校教員の評判調査など、日本の教育事情に即した評価指標に基づいて実施されました。

『THE Times Higher Education』編集長のフィル・ベイティ氏は「日本の大学は国際性の面で他国に大きく遅れをとっている」と問題意識を持っており、4 つの評価基準の中で、国際性を促すための指標が追加され、重要視されました。

神田外語大学は、4 つの評価基準の内、教育充実度 (92.2 ポイント)、教育成果 (55.4 ポイント)、国際性 (76.0 ポイント) で高い評価を獲得。最も良い評価を受けた「教育充実度」では、高校教員を対象に「グローバル人材育成に力を入れている」「生徒の力を伸ばしている」大学として例年ポイントを集めています。また教育成果では、企業人事や研究者からの高い評価を受け、国際性では、外国人学生比率や外国人教員比率が高い大学としてのポイントも高い結果でした。

同大のキャリア教育センターは学生の海外インターンシップ活動支援に意欲的に取り組んでおり、OB、OG が活躍している世界各国の企業との交流も積極的に行っていることも企業人事から票を集めた要因の一つとなりました。

同大は 2017 年 4 月 5 日、語学教育を通して、「教わる」のではなく、「自ら学ぶ人」を育てる新しい語学学習施設「8 号館 (通称: KUIS8 クイス・エイト)」を学内に新設。同施設では「生涯にわたり学び続ける力」として「ラーナーオートノミー (自立学習推進能力)」に着目し、同分野のさらなる発展と経済・社会の発展に寄与する高度な語学力を備えた人材を育成しています。

施設内にはラーニングアドバイザー (※1) が常駐し、学生たちの語学学習に関するきめ細やかなアドバイスや相談を実施。一人ひとりに最適な学習方法を一緒に考え、学習の自立学習を支援します。

また、学習者のレベル別に細かく学習計画や学習環境、教材が分析され、学生一人ひとりの習熟度別に対応することを目的として作成された教材を提供。学生の学習レベルや目標、興味関心が異なるため、ラーニングアドバイザーはより実現可能な目標を学生と共に設定します。

学生がラーニングアドバイザーに繰り返し学習計画や内容について相談をすることで、学習に対するモチベーションを継続的に維持しながら、個人の目標を達成できることが同施設の強みです。

日々変化を続ける語学教育に関し、同施設の教員とスタッフは学生にとってより良い教育内容を提供するため継続的に研究調査を行っています。

また、学内には「食」を通してアジアの文化を学ぶ学生食堂「食神」があり、アジア各国の伝統料理や文化をいつでも体験できます。学生たちは日々の生活を通して、語学力とともに、異なる文化や習慣を学び、異文化理解力を身に付けた人材に成長します。なお、同食堂は定期的に一般住民にも開放され、アジア各国の伝統行事に関するイベントを開催しています。

同大は、今回の結果を受け、さらなる語学教育の充実・発展を目指すと共にグローバル社会に求められる人材の育成・輩出に力を入れていく予定です。

◆神田外語大学 宮内孝久（みやうち たかひさ）学長コメント

人は自分自身のコトは判らないものだ。自己評価と他己評価は異なり、時として wishful thinking になりがちだ。テニスやゴルフでスランプに陥った時に問題箇所をわかりやすく指摘してくれるコーチは有難い存在である。「THE 世界大学ランキング日本版」の比較表は大学経営で悩み続ける我々に今日的且つ、貴重なヒントを与えてくれており、総合評価 33 位という結果は本学が地道に積み上げてきた教育への取り組みが学生や高校の先生方に理解され、本学から輩出された卒業生が社会で受ける評価の反映であると大変喜ばしく思っている。しかしながら、競争的資金獲得など「教育リソース」の充実においてはまだまだ途上段階であり、教職員一丸となってこの課題に向き合っていきたいと考えている。また、我々は「自立学習」を教育の軸と標榜しているが、学生の本気度を上げさせ、アドバイザー機能を高める為には不断の研究が必要だ。先輩が後輩を指導するチューター制度における関係者の技術向上と合わせて更なる拡充を目指し、努力を重ね精進して参りたい。

（※1）ラーニングアドバイザー…語学教育専門の教員。11名の専任ラーニングアドバイザーが学生一人ひとりと面談を重ね、克服すべき課題を洗い出す。共に課題を分析し、克服するための解決策を導き出し、具体的な学習計画を立て、実行に移せるよう学生をサポートする。

（参考）

- ・ 神田外語大学 新施設 8号館（通称：KUIS8 クイス・エイト）
<https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/worldgate/special/newschoolhouse/point.html>
- ・ 神田外語大学 SALC (Self-Access Learning Center)
<http://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/facilities/bldg6/salc/>

※千葉県政記者クラブ、千葉市政記者会、千葉民放記者クラブ、共同通信 PR ワイヤーにも配信されています。

▼本件に関する報道関係の方の問い合わせ先

学校法人佐野学園 学園広報部

担当：関根 勇人

TEL： 03-3258-5837（平日 9:00～17:30）

FAX： 03-5298-4123

E-mail： media@kandagaigo.ac.jp

